

おお大勝利

平成 20 年度山東サッカー部報第 7 号 (6 月 2 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

初戦勝利 とりあえず順調な船出

6 月 1 日 (日) 飯森山グラウンドでいよいよ県総体緒戦が行われました。山東緒戦の相手は予想通り、前日 5 月 31 日 (土) に鶴南を 2-0 で圧勝した米沢中央 (スコアはさほどでないですが内容は圧勝でした)。心配された雨も上がり、風も強風とまではいかない程度。芝の状況は最高レベル (前日雨の試合ではがれていましたが、天童第 3 ピッチを凌ぐ状態の良さでした)。いよいよ決戦の火蓋が切られました。

米沢中央は、4-3-3 という FW を 3 人置く攻撃的布陣で得点をうかがう。真ん中のトップが体の大きな選手で、その選手がポストプレーに徹し、彼が落としたボールを他の選手が拾う攻め口。監督主将会議のため午前中に出発した黒田がビデオカメラを回していたおかげで、分析はばっちり。米沢中央は序盤、強豪の雰囲気たつぷりに、山東ゴール前に迫る。しかし山東の真ん中の DF の柏倉と峯田が圧力をどんどんかけ、相手トップに仕事をさせない。

そうした中、まだボールも落ち着かない状況で、CK からゴール目の前にこぼれたボールを平が蹴りこみ早々に先制。2 点目も平が相手 GK と DF の連携の悪さをつき難なく 2 点目。米沢中央は「巧い」のだが、詰めが甘く、それに乗じた山東が前半を 2-0 で折り返す。山東の前半は決して内容が良かったわけではなく、ボールを回そうとするがパスミスが多く、なかなか分厚い攻撃ができない。

早めに失点したら後半逆転もあると警戒して臨んだ後半、早々に相手の強烈なロングシュートを浴びるが、最近好調の GK 武田がしっかりとセーブ。それ以降は、五十嵐のボレー、後藤のスライディングシュートによって追加点を挙げ、危なげなく勝利。米沢中央は持っている力を出し切れないうまま、終盤は心が折れたか完全に失速し、山東のワンサイドゲームになってしまいました。五分五分と考えて臨んだ緒戦でしたが、終わってみれば 4-0 の順調な滑り出しとなりました。

次の相手は山形中央を下した鶴岡工業。 **目の前の一戦だけに集中し全力で頑張りますので、応援よろしくお願いします。**

なお、県総体第一ラウンドにあたり、保護者会、黒田さん、武田さんから差し入れを頂戴しました。感謝申し上げます。

波乱の幕開け どうなる第二ラウンド

順調な山東の滑り出しに対し、他のシード校はこぞって苦戦。プリンスリーグで好調の山形中央がメンタル面の弱さを露呈し鶴岡中央の堅守に破れたのを筆頭に、城北が明新館に、新東が酒東に、鶴東が長井工業に破れ、プリンス参加1校、県リーグ1部3校が早々に姿を消すという、波乱の第一ラウンドとなりました。勝ち上がった東海、日大も延長やPK合戦に臨むという苦戦振り。山形中央、羽黒がともに準々決勝で破れた一昨年の県総体に続き、波乱の多い大会です。

ともかく山東は「獲らぬ狸の皮算用」をすることなく、一戦一戦大切に戦うのみです。金曜に鶴岡工業と戦いますが、鶴岡工業は昨年、県リーグの1部残留を賭けて戦い、山東が下した因縁の相手。**燃えに燃えて山東にぶつかってくるでしょうが、これを3年生最後の大会にする山東も気合が入っています**。第一ラウンドと同様、良い準備をして臨みたいと思います。

先発隊は別紙にありますように木曜から前泊します。旅館は同様に若葉旅館となります。